

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：石川

グループ：1班

2020.10.11

## 5Gを見据えた学校生活

# テーマ：新しい生活様式とICT活用法 ～行動制限の時代に生きる～

## ①学業の視点

- ・どのICT機器を勉強に使い、その機器は授業の代替機能を果たしたか
- ・メリット、デメリット、不足点、改善すべき課題は・・・。

## ②コミュニケーションなど

- ・SNS等でのクラス、部活等の仲間との意思疎通や触れ合いはいかがでしたか？
- ・SNS等でトラブルや事故はなかったか
- ・コミュニケーションや使用において気を付けたこと、心がけたことは

## ③私たちが提言したいこと

# 自粛中のICTの活用

PC、携帯電話機器

授業動画、課題の配信

# メリット

- ・ 通学時間の有効活用
- ・ 動画をみでの授業（巻き戻しなど○）  
→ 分かりやすい！

# デメリット

- 分からないところが質問できない
- 周囲と相談して勉強できない

## SNSでのトラブル、コミュニケーションにおいて、心がけたこと

トラブルはないが、表情がわからないことも多い。

顔を見て話したこともあったが、文章だけの会話では、絵文字などを利用した

普段あんまり話せない人と話すこともできた。

# 私たちの班が提言したいこと

- 携帯料金を下げてもらう
- 国から授業配信
- オンライン授業を増やす(講師による遠隔授業も)
- 5Gを利用した学校生活
  - ⇒ 全校生徒が一斉にWi-Fiを利用できるように  
海外の人とも話せる(自動翻訳もできる)
- 各家庭のWi-Fi環境整備のための補助金

## ICT機器での勉強について

メリット、デメリット、改善点

パソコン、携帯機器、授業動画配信、課題配信

メリット→通学時間の有効活用、動画を見ての授業(巻戻しなど可)

デメリット→分からないところ質問×、周囲と相談して勉強できない

改善点→オンラインでリアルタイムで行う Zoom活用

# 「提言をお願いします」

- 今まで出来ていなかったこと
- 新たにやったほうがいいこと
- 改善したほうがいいこと
- 検討してもらいたいこと      等々

皆さんの意見や考えを様々な立場の人に提言して下さい

## 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：石川                      グループ：                      2班                      2020.10.11

ICTでつくる新しいコミュニケーションのあり方

# 現状の分析

〈コロナ自粛中とICTについて〉

- ・ 学習面

タブレット支給やGoogleクラスルームを入れているにも関わらず課題紙ベース

- ・ 課外活動

学校からの紹介でzoomのイベントに参加  
だけどイベントを知る機会が少ない

# 現状の分析

- ・生活面

SNS中心の生活、勉強に集中できない

友達と通話しながら勉強

身近な人とはLINEで連絡、不特定多数の人とはZoom

- ・部活

新入生→部活すら入れていなかった

個人練習、先生に自主練の内容を報告

## 現状の分析

- ✓ コロナ自粛中、人とコミュニケーションを取る機会が少なかった
- ✓ 便利なツールがあるものの、使いこなせている人が少なかった

# 解決策

- ・ Zoomなどのコミュニケーションツールを活用
- ・ オンライン授業の普及
- ・ オンラインコミュニケーションツールを小さなコミュニティの中で使ってみる→身近に感じる

# 解決策

- ・ 学校側が生徒に電子機器を支給
- ・ 学校にロボット導入→コミュニケーション増える

## 私たちからの提案

今あるコミュニケーションツールを学校や家庭でどんどん活用すること。それを普及するには学校による「オンライン授業」や「タブレットでの課題配信」、企業による「AI司会者」の導入など、オンライン上でのコミュニケーションをより楽しめるコンテンツを提供し、そのようなものを使用する機会のハードルを下げるのが重要だと考えました。

## 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：石川      グループ：      3班      2020.10.11

# なぜオンライン授業が行われなかったのか？

# 現状分析

<私たちはオンライン授業の実施がなかった>

## 何故なかったのか？

- ・ ネットに慣れていない先生が多い
- ・ わからない部分をおその場で聞く事ができないので理解が深まらない
- ・ オンライン授業を聞く生徒は少ないと考えたから
- ・ 家にオンライン授業で使える機材がない方がいると考えたから

## より良いオンライン授業とするには？

- ・ 使用するツールを統一する
- ・ 最低限のルールを決める
- ・ 生徒のみんなが集中して取り組めるオンライン授業の環境を整える
- ・ 意欲の湧く授業を先生たちに考えて頂く必要がある。

## 提言

### <ツールについて>

- ・ 事前に共通のツールを生徒に配っておく

### <ルールの制定について>

- ・ とりあえずのルールを決めて後からみんなで新しいルールを作る
- ・ 家の中であっても身だしなみを整える
- ・ アンテナをたてる

# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：石川

グループ：4班

2020.10.11

より良い生活にするためには

災害困難、コミュニケーションがポイント

学校はどんな仕組みを整えるべき？

高校生はどんな準備をすべき？

（身につけるスキルは何？）



## コロナで感じたこと

- よかったこと

課題の配信 共有ソフト 復習時間がとれた

- 悪かったこと

対面授業 コミュニケーションが取れない  
問題の質問（専門分野）ができなかった

# 解決策

全国共通アプリの作成！



# 内容

- ・ クラスのみんなで教えあえる機能。
- ・ 有名な先生、分かりやすい先生の講義
- ・ オンライン授業、朝礼（動画はやる気が起きない）

# 高校生がやるべきこと

みんなのモチベーションをあげること！



# モチベーションをあげるには？

- ・ 報酬

- ・ ログインボーナス

- ・ 雑談zoom

クラスみんなでコミュニケーション  
問題の教え合い



ありがとうございました



# 「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：石川

グループ：5班

2020.10.11

## コロナ渦で安心してICT化に対応

# 現状分析

休校期間の紙の課題は多い

学校はアプリをなぜ取り入れない？

メリットが少ない、分からない

そもそも知らない

安心して利用できない

結果、普及できてない

# 解決のための方策

安心材料として大学などの提携をアピールする  
広告塔や生徒の実演  
効果を分かりやすく見せる

# 提言

使う人を安心させて、普及率を上げるために  
信頼できる証拠を作っていきたい

# 行動制限

なかなかリフレッシュできない。

遊びに行けない。(公共交通機関の不安)

接触確認アプリの普及率はどうか

→初歩的なレベルの開発をしてほしい

## 安心要素

換気や消毒、定期的な通知がほしい

アプリでカメラを使うとコロナが分かる

→混雑しているのを見える化

アプリは個人情報怖いのもある...

# 活用できるアプリ

インスタのタグにつけてほしい

LINEなどSNS媒体を使ってコロナ対策

みんな使ってるSNSがバラバラ

→LINE、Twitter、フェイスブックetc...

ビデオ通話アプリを勉強アプリと組み合わせる

# 学習アプリ

勉強方法を教えてくれれば使いたい

複数アプリを使うのは面倒くさい

オンライン学習は通信量がかかる(ギガを消費)

→オフラインにしてほしい(融合する)

授業はノートを使いたい

# 各学校の休校期間中の課題と学習

ビデオに一回一回分からないところを見せるのが手間

→手間を省きたい

紙媒体からデジタル媒体へ変えたほうがいいのかも

月一で郵送してきた課題を提出

→ICTを使えばスピーディーにできる

郵送は進行度が分からない

# オンラインとオフラインの融合

ライブ配信のホストが教える

ノートをデジタルで送信

→参加のハードルが下がる

自分の手元を映せたらいい

# ノートとICTの組み合わせ

書いたものを共有

ノートをデータ化(PDF化する)

→どんな端末でも管理できる

ノートではなくタブレットに書き込み

## グループの意見

オンラインとオフラインは融合できるか

100%オンラインは少し厳しい

特別支援学校の教科書はオンライン化

普及率は大きな課題

今あるものをもっと普及させるといい

→広告ではなく有名人などを起用して実演する

メリットを分かりやすくすればいい

# 大人たちに何をしてほしい？

怪しまれずにサンプリング

→有名校などと提携しているのをアピールする  
公式のホームページで安心感を与える